

- 問1 18世紀半ばから19世紀末にかけてのロンドンでは、人口が約100万人から650万人近くへと垂直に近い角度で急増しました。これに伴い、テムズ川の水質悪化が深刻な社会問題となりましたが、この時期に汚染が急速に進んだ背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 島根県公立入試 類似)
1. 急激な人口集中に対して下水道などのインフラ整備が追いつかず、家庭からの生活排水が直接河川に流れ込んだため。
2. 世界的な気温上昇によってテムズ川の水量が減少し、もともと川に含まれていた有害物質の濃度が相対的に高まったため。
3. 産業革命による工場建設が進んだことで、工場から排出される化学物質を含んだ排水が主な汚染源となったため。
4. 石炭の大量消費によって発生した硫酸酸化物が雨に溶け、強い酸性雨となって河川の生態系を破壊したため。
- 問2 日本の弥生時代の様子を伝える中国の歴史書には、日本に多くの小国があったことが記されています。この時期に中国から西アジア、さらには地中海地域へと広がり、東西の文化交流を支えた交通路について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 日本と東南アジアを直接結ぶ唯一の海上交易路として、弥生土器の輸出を支えた
2. 北方からの遊牧民族の侵入を防ぐために築かれた軍事的な防壁であり、交易には使用されなかった
3. 江戸時代に整備された五街道のひとつであり、内陸の物資輸送の拠点となった
4. 中国と西欧諸国を結び、絹や西方からの工芸品などが取引される東西交流の重要なルートとなった
- 問3 奈良の平城京にある東大寺の正倉院には、聖武天皇の遺愛品などが数多く納められています。その中にある「螺鈿紫檀五絃琵琶(らでんしたんのごげんびわ)」などの工芸品は、中央アジアや西アジアの影響を受けた国際色豊かなデザインが特徴です。これらの文物が唐の都である長安を経て日本へ伝わる際に通った、中国と西方を結ぶ陸上の交易路を何と呼びますか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. シルクロード(絹の道)
2. ステップの道(草原の道)
3. 茶馬古道
4. 海の道(香料の道)
- 問4 中国文明の初期の王朝である殷(いん)では、政治や軍事に関する重要な事柄を決定する際、ある特別な方法が用いられていました。その方法と、それに関連して生まれた文化的な特徴について説明したものとして正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 石碑に刻まれたハンムラビ法典に基づき、厳格な裁判によって国家の秩序を維持した。
2. インダス文字を用いた印章を使い、農産物や家畜の取引内容を正確に管理することで経済を安定させた。
3. パピルスと呼ばれる草の茎から作られた紙に、象形文字を用いて王の業績を詳しく記録した。
4. 亀の甲羅や牛の骨を焼いて現れたひびの形で神の意志を占う「骨占い」を行い、その結果を甲骨文字で記録した。
- 問5 古代エジプト文明の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 各地に都市国家(ポリス)が成立し、市民による進んだ民主政治が行われた。
2. 時間をはかる単位として60進法が発明され、1週間を7日とする制度が生まれた。
3. チグリス・ユーフラテス川の流域で栄え、粘土板に楔形文字が刻まれた。
4. ナイル川の氾濫時期を知るために天文学が発達し、太陽暦が作られた。
- 問6 漢の時代に行われた対外政策と、その影響について述べた文として正しいものはどれか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 周辺諸国との戦いに備え、初めて万里の長城を築き、防衛体制を固めた。
2. 西方への交易路であるシルクロードが開かれ、インドから仏教が伝来した。
3. 文字を甲骨文字に統一することで、周辺諸国との外交交渉を有利に進めた。
4. 貨幣や重さの単位を統一し、中央アジアの諸国と共通の経済圏を構築した。
- 問7 イスラム教が成立した7世紀末から8世紀初め頃、日本では奈良県に高松塚古墳が造られました。この古墳の石室壁画には、古代中国の思想に基づき、方位を守る「四神(ししん)」と呼ばれる青龍・白虎・朱雀・玄武などの動物や、当時の人々の姿が描かれています。このような壁画の内容から、当時の日本が最も強く影響を受けていたと考えられる文化の地域はどこですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. ローマ
2. 中国
3. ペルシャ
4. インド
- 問8 南アジアのパキスタンからインド北西部にかけて流れる大河の流域で、紀元前2500年頃に誕生した文明について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
1. ピラミッドや神殿が建設され、天文学や測量技術が発達したほか、太陽暦が用いられていた。
2. 亀の甲羅や牛の骨に文字を刻んで占いが行われ、青銅器を用いた高度な文化が形成された。
3. モヘンジョ・ダロやハラッパといった都市が建設され、レンガ造りの建物や排水路などの都市設備が整えられていた。
4. 粘土板にくさび形文字を刻み、月の満ち欠けに基づいた太陰暦や六十進法が考案された。
- 問9 紀元前2500年ごろからインダス川流域で栄えた古代文明では、石で作られた四角い印章に動物の図像とともに独自の文字が刻まれていました。この文字に関する説明として、他の文明の文字と比較した際の特徴を次の中から選びなさい。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
1. 粘土板に刻まれることで記録が残り、現在ではその内容の多くが解明されている。
2. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字であり、現在の漢字の原型となった。
3. フェニキア人によって考案され、後のアルファベットの起源となった。
4. エジプトの象形文字やメソポタミアのくさび形文字とは異なり、現在も解読されていない。
- 問10 弥生時代に現れた青銅器と、奈良時代に現れた和同開珎。これら2つの資料の使われ方や目的の違いを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 青銅器は稲作の収穫効率を高める農具として使われたが、和同開珎は寺院を建立する際の地面を固める材料として使われた。
2. 青銅器は大陸との貿易を円滑にするための通貨であったが、和同開珎は国内の物々交換を禁止するために作られた。
3. 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の權威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。
4. 青銅器は狩猟の道具として実用的に使われたが、和同開珎は死者を弔うための副葬品として使われた。
- 問11 7世紀に成立したイスラム教の教えや特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. シャカ(釈迦)がインドで修行の末に悟りを開き、生老病死などの苦しみから逃れる道を説いている。
2. パレスチナでイエスが説き始め、すべての人間を愛する「隣人愛」と神による救済を強調している。
3. 孔子が戦乱の世を収めるために、家族の道徳である「仁」や社会の決まりである「礼」を説いている。
4. 唯一の神アッラーの前ではすべての信者が平等であると説き、日常生活の細かな規律を定めている。
- 問12 中国の黄河流域で栄えた古代王朝である「殷(商)」において、亀の甲羅や牛の骨に刻んで用いられ、現在の漢字の原型となったとされる文字を何といいますか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
1. 象形文字
2. 楔形文字
3. 甲骨文字
4. 金文